

# 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について

岩国市教育委員会

## 1 調査の概要

### (1) 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査期日 平成29年4月18日(火)

(3) 平成29年4月18日(火)に調査を実施した学校数・児童生徒数

学年	学校数	児童生徒数
小学校第6学年	岩国市立小学校 30校	1,071人
中学校第3学年	岩国市立中学校 14校	1,054人

### (4) 調査の内容

① 教科に関する調査(国語、算数・数学)

問題A…主として「知識」に関する問題

問題B…主として「活用」に関する問題

② 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

ア 児童生徒に対する調査(児童生徒質問紙)

【小学校…92項目 中学校…94項目】

イ 学校に対する調査(学校質問紙)

【小学校…111項目 中学校…109項目】

## 2 結果概要

### (1) 教科に関する結果

#### ① 平均正答率

##### ○ 小学校

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
岩国市	76	57	78	45
全国	74.8	57.5	78.6	45.9
山口県	76	58	79	45

##### ○ 中学校

	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
岩国市	80	75	67	48
全国	77.4	72.2	64.4	48.1
山口県	79	73	66	49

#### ② 全体の結果

##### ○ 全国平均との比較（平均正答率）

小学校では、国語 A で全国平均を上回っている。

中学校では、国語 A ・国語 B ・数学 A で全国平均を上回っている。

##### ○ 県平均との比較（平均正答率）

小学校では、国語 A ・算数 B で県平均と同程度である。

中学校では、国語 A ・国語 B ・数学 A で県平均を上回っている。

#### ③ 教科ごとの結果

##### 【小学校国語】

- ・問題 A : 全国平均を上回っているが、県平均と同程度である。
- ・問題 B : 全国平均及び県平均を下回っている。

##### 【小学校算数】

- ・問題 A : 全国平均及び県平均を下回っている。
- ・問題 B : 全国平均を下回っているが、県平均と同程度である。

### 【中学校国語】

- ・問題A：全国平均及び県平均を上回っている。
- ・問題B：全国平均及び県平均を上回っている。

### 【中学校数学】

- ・問題A：全国平均及び県平均を上回っている。
- ・問題B：全国平均及び県平均を下回っている。

## (2) 生活習慣や学習環境に関する結果

### ① 児童生徒に対する調査

#### 【望ましい状況】

- 《地域とのかかわり》今住んでいる地域の行事に参加していると答えた子ども、地域社会などでボランティア活動に参加したことがあると答えた子どもの割合が全国と比べて高い。
- 《子どもの意識》いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている子ども、人の役に立つ人間になりたいと思っている子どもの割合が全国と比べて高い。
- 《学習・授業》これまでの授業で目標が示されていたと思っている子ども、授業の最後に振り返る活動をよく行っていたと答えた子ども、話し合う活動をよく行っていたと答えた子どもの割合が全国と比べて高い。

#### 【課題とみられる状況】

- 《算数・数学への興味・関心》算数・数学の勉強が好きと答えた子ども、算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えると答えた子どもの割合は全国に比べて低い。
- 《外国に対する興味・関心》外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う子ども、将来、外国へ留学したり国際的な仕事に就いたりしてみたいと思う子どもの割合が全国に比べて低い。

### ② 学校に対する調査

#### 【望ましい状況】

- 《授業》児童生徒に対して、学級やグループで話し合う活動を授業などで行ったと答えた学校の割合は全国に比べて高い。
- 《全国学力・学習状況調査の分析》全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有した学校、分析結果について学校全体で教育活動を改善するために活用したと答えた学校の割合は全国と比べて高い。
- 《地域とのかかわり》PTA や地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれると答えた学校、保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果があると答えた学校の割合が全国に比べて

て高い。

【課題とみられる状況】

- 《対話的な学び》 児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかり伝えることができていると答えた学校、話し合いなどの活動で自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると答えた学校の割合が低い。

(3) 今後の対応

○年2回の改善検証サイクルの確立

- ・各校にて、「全国学力・学習状況調査」や県独自の調査である「学力定着状況確認問題」において、学力状況だけでなく、質問紙の結果も合わせて把握し、児童生徒の実態に即した指導の工夫改善を図ることができるよう支援する。

○授業改善

- ・「岩国市：授業スタンダード（目標-表現活動-振り返りのある授業）」に則った授業の完全実施をめざし、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を進める。

○地域との連携

- ・「やまぐち型地域連携教育」のしくみを活用し、中学校区の学校・家庭・地域との情報共有し、地域人材による学習支援、児童生徒による地域貢献等、地域のさまざまな人々とのふれあいを増やし、地域とのより深い連携を推進する。

### 3 参考データ等

#### (1) 教科ごとの結果

##### ① 小学校国語

国語 A については、県平均と同程度であるが、全国平均は上回っており、知識・技能の定着に一定の成果が見られる。国語 B については、県平均・全国平均ともに下回っており、知識・技能の活用に課題が見られる。

##### 【相当数の児童ができている点】

- (A) 第5学年までの学習した漢字を読むこと
- (A) ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること

##### 【課題のある点】

- (B) 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くこと
- (B) 自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えること

##### ② 小学校算数

算数 A については、県平均・全国平均ともに下回っており、知識・技能の定着に課題が見られる。算数 B については、県平均と同程度であるが、全国平均は下回っており、知識・技能の活用に課題が見られる。

##### 【相当数の児童ができている点】

- (A) 具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解すること
- (B) 示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現すること

##### 【課題のある点】

- (B) 直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用すること
- (B) 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述すること

## ① 中学校国語

国語 A については、県平均・全国平均をともに上回っており、知識・技能の定着に一定の成果が見られる。国語 B についても県平均・全国平均をともに上回っており、知識・技能の活用する力においても一定の成果が見られる。

### 【相当数の生徒ができている点】

- (A) 文脈に即して漢字を正しく読むこと
- (A) 目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめること

### 【課題のある点】

- (A) 事象や行為などを表す多様な語句について理解すること
- (B) 表現の仕方について捉え、自分の考えを書くこと

## ② 中学校数学

数学 A については、県平均・全国平均をともに上回っており、知識・技能の定着に一定の成果が見られる。数学 B については、県平均・全国平均をともに下回っており、知識・技能の活用に課題が見られる。

### 【相当数の生徒ができている点】

- (A) 平行移動した図形をかくこと
- (B) 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること

### 【課題のある点】

- (B) 2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明すること
- (B) 事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明すること